

横田基地での人員降下訓練におけるRA-1型パラシュートを使用した  
訓練の再開について（口頭要請）

令和元年9月26日、北関東防衛局より、平成31年1月8日及び9日に連続して発生したパラシュート事故と同型のパラシュートを使用した訓練を9月26日より再開するとの情報提供があった。情報提供内容によると、「問題が発生する可能性を最小限にとどめるための対策を講じています。」とあり、その対策の内容については明らかにされていない。人員降下訓練は、一歩間違えば基地外へ影響を及ぼし、人命に係わる重大な事故につながりかねず、多くの住民は、基地で行われる訓練の大小を問わず、常に不安を感じている。こうした、周辺住民の感情を踏まえ、次の内容について強く要請する。

- 「問題が発生する可能性を最小限にとどめるための対策」とあるが、どのような対策を講じたのか速やかに情報提供を行うこと。
- 本年1月のような人為的ミスが発生しないよう、部隊への教育を徹底すること。
- 訓練の再開に当たっては、徹底した安全対策を講じ、横田基地周辺地域へ影響を及ぼさないこと。

令和元年9月27日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官 オーティス C. ジョーンズ大佐 殿

日の出町長 橋本聖二